
12. コミュニティ・ビジネスの支援ネットワークの確立

C. B. N (コミュニティ・ビジネス・ネットワーク) 設立準備会
(首都圏)

I. 活動の背景と目的

私たち「コミュニティ・ビジネス・ネットワーク設立準備会(以下、C. B. N)」は、1997年の結成以来、「コミュニティ・ビジネス」の支援を行ってきました。私たちは、地域内で身の丈にあったスケールの経済循環をつくっていくことがコミュニティの元気づくりに不可欠であると考えています。そして、そのような地域経済を生み出す地域密着のsmallビジネスを「コミュニティ・ビジネス(以下CB)」と呼んでいます。

私たちは、このたび(財)ハウジングアンドコミュニティ財団から助成をいただいて、「LETS(Local Exchange Trading System:地域交換取引システム)」を利用したCBの支援策づくりに取り組むことができました。

地域内だけで通用する「通貨」を使って地域住民が財やサービスを交換するLETSは、欧米で失業対策の一環として1980年代後半から広がったものですが、近年、日本においても新しい地域活性化の方法として注目を集めています。

私たちは、LETSがCBの支援と掘り起こしの仕組みとして有効ではないかと考え、LETSの立ち上げを試みました。

II. 活動の内容

(1) LETS についての研究～墨田区両国でスタート～

私たちは、まず、英国で行われているLETSを参考に、LETSの基本的な仕組みや運営方法について研究しました。そして、LETSをどこで立ち上げるか検討し、これまでの活動の中で関わりのあった東京都墨田区両国を最終的に選びました。

両国を選んだ理由は、両国ではCBの事業者と消費者が新しいネットワークづくり(「新しいモノ作りの会」の結成)を行っていて、その活動にLETSを導入することで、効果的なCB支援ができるのではないかと考えたからです。



「新しいモノ作りの会」でのワークショップ

(2) 「新しいモノ作りの会」とLETS

現在、両国では、(有)「すみだリバーサイドネット」というCBが事務局となって、墨

田区に住む主婦やC Bの経営者、そして伝統職人（すみだマイスター）、が集い、「新しいモノ作りの会（平成11年8月設立）」を運営しています。

「新しいモノ作りの会」のねらいは、C Bが新商品開発を行うときに、会の消費者（主婦）の意見を聞くことで、消費者の視点に立った商品開発を行えるようにすること、そして、消費者が地域のモノ作りに参加して、自分たちの声を地域のモノ作りに反映させることができるようにすることにあります。

私たちC. B. Nは、「新しいモノ作りの会」の活動にLETSを導入することによって、もともとC Bの支援を目的としている「新しいモノ作りの会」の活動をより促進することができると思いました。

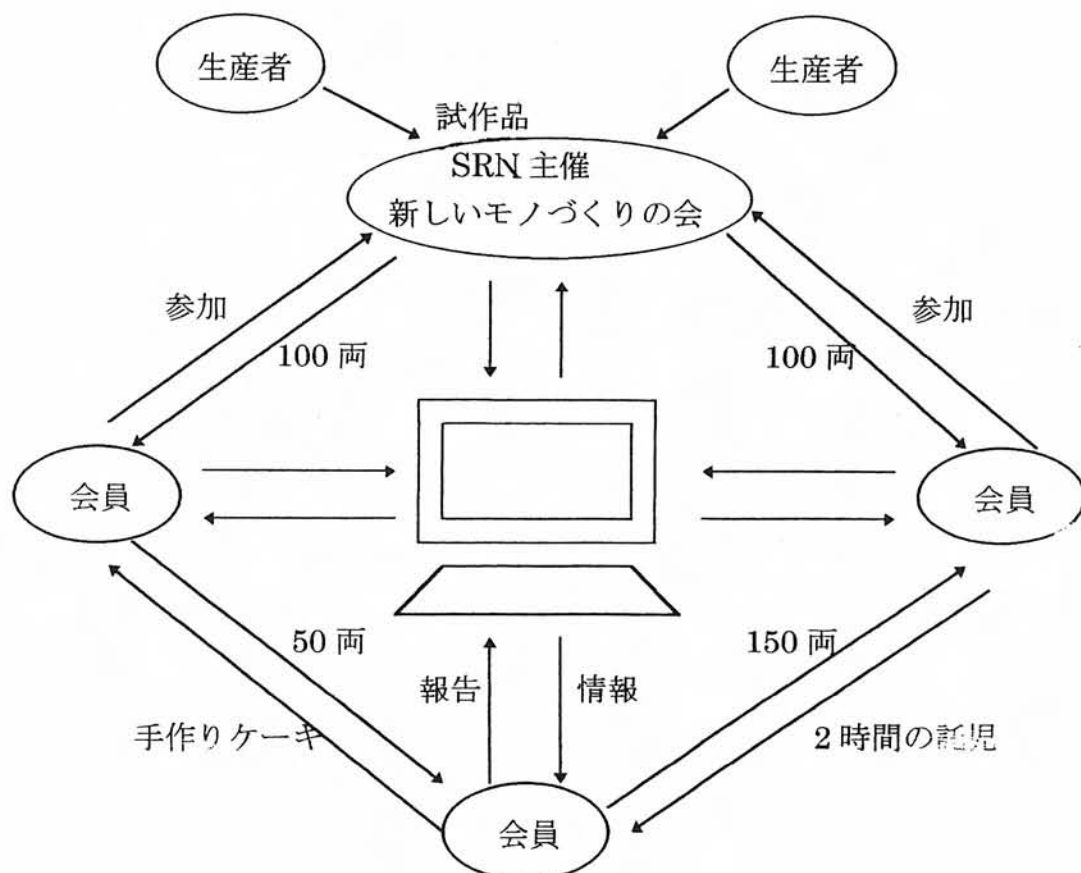
私たちの具体的な提案は、①C Bの新商品開発に消費者が参加した場合に、消費者に「地域通貨」を発行し、消費者がその「地域通貨」を使って、試作品等を購入できるようにすること、②生産者と消費者の間だけではなく、会員同士で広く財やサービスを交換できるようにして、そのような活動の中から、新しいC Bを起こしていくこと、の二つでした。

(3) 「すみだマネー」の仕組みづくり

私たちは、定期的に「新しいモノ作りの会」に参加し、LETSについての説明会やワークショップの開催を通して、メンバーに理解と賛同を募り、「新しいモノ作りの会」とともに、両国におけるLETSの仕組みをつくっていきました。

この仕組みは、「すみだマネー」と名づけられ、通貨の単価も、両国という地名と江戸時代の貨幣にちなんで「両」と名づけられました。

最終的に決まった「すみだマネー」の仕組みは、ホームページと電子メールを使って、取引を行うものです。



(4) 「両」による取引の開始

「すみだマネー」の通貨単位である「両」を使った取引は、平成12年2月より始まりました。CBの試作品の検討会に参加した場合、会員には「両」が発行され、会員は獲得した「両」を使って、CB側が提供するサービスや財を購入しています。

例えば、CBのひとつであるK2プロジェクトの消臭繊維を使った新商品の検討会に参加して「両」を獲得した会員が、同じくK2プロジェクトが主催するクラフト教室へ「両」を支払って参加しました。

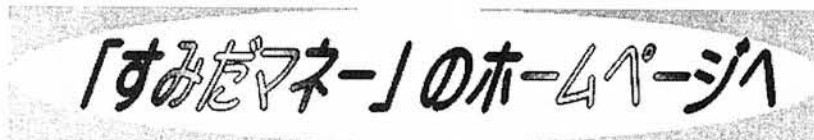
(5) 「すみだマネー」のホームページ作成

次に、「すみだマネー」のホームページを作成しました。

ホームページの作成は、(有)すみだリバーサイドネットの地域情報化事業のひとつであるSOHO for Mothersに委託しました。

SOHO for Mothersとは、墨田の女性たちを対象にパソコン講座を開き、その講座の卒業生たちにホームページ作成などの仕事を斡旋する事業で、「女性の仕事おこし」を事業目的に掲げています。

現在までに、ホームページはほぼ完成しています。



このホームページは、すみだリバーサイドネットの
SOHO FOR MOTHERS のお母さん達で作られています。

すみだマネーのホームページ (<http://www.srn.ne.jp/smoney/>)

III. 活動の効果及び今後の課題

今年度の活動で、CBと消費者をLETSによって結びつけるというアイデア、そして、ホームページと電子メールを使ってLETSの運営を行うという構想がまとまり、形になりました。この活動で開発したLETSの仕組みは、他の地域でのCB支援にも応用することができると思っています。

また、「すみだマネー」を使って、CBと消費者の交流を促し、CBの新商品開発を実際に支援することができました。「両」を獲得できるというメリットをつくることで、消費者の「新しいモノ作りの会」への参加意欲を引き出すことができたと思います。

しかし、今のところ、「両」を使った取引は、CBと消費者会員の間に限られていて、まだ、消費者会員同士の取引は活発に行われていません。消費者会員の間での取引を促していくことが今後の課題です。

私たちは、消費者として「新しいモノ作りの会」に参加している会員がお互いに財やサー

ビスを交換していく中から、新しいCBの芽が育ってくるのではないかと期待しています。

また、C. B. NにはCBに関心を持った会員や専門的な支援が可能な専門家など様々な人が参加しており、「すみだマネー」を通じた墨田のCB支援ネットワークの形成や、他地域でのLETSを活用したCB支援の仕組みづくりを今後の課題としたいと思います。